

ス・ユ・ニ・日・中

版 コ ス ネ シ

山口新聞 22-ス 16/1/2 春と秋 5... Eニフデー 140- 28x
 高知新聞 22-ス 16/3/1 本編同じ (本編トッパ追加)
 新愛媛新聞 22-ス 16/1/29

No. 476 38.3.1

一、ときわ丸衝突沈没

—神戸

二月二十六日未明神戸港沖合で貨物船と貨客船が衝突、またしても死者十一人、行方不明三十六人を出すという惨事が起りました。
 だが貨物船「りつちもんど丸」は朝のラジオニュースではじめてこの重大さを知ったといわれます。やがて正午すぎには九ツの遺体がつぎつぎに収容されやりばのない怒りの涙が、とめどなく棧橋をぬらしています。
 すでに当局では、原因の究明にのり出していますが、いずれかに重大な過失があるものとみられ、刑事責任まで発展しようとしています。

一、お元気で満三ッ

—浩宮さま

二月二十三日満三歳の誕生日をおむかえになった浩宮さま。おすましのお顔などはますます皇太子さまに似てこられました。
 おしつても「ありがとう」や「ごめんなさい」に重点が置かれ、三歳を機に御両親はしつつけをきびくしておられるとのこと。

一、誓って「足を洗う」

二月二十四日東京浅草を根城にする泣く子もだまる義人党の面々、正統派ヤクザめざし愚連隊を廃業しドカタに転職、お寺で「誓いの式」をあげました。
 これは恵比寿泉明寺住職の二年にわたる努力のかいあつて正業につくことが出来たのです。

一、ぞくぞく好記録

—世界スピードスケート

本年度の世界スピードスケート選手権は男子女子とも好記録続出、なかでもスピードスケートの女王ソビエトのスコブリコワは全種目独占の完全優勝を飾り人気を一手にあつめました。男子でもスエーデンのニールソンは一人で三つのレコードを書きかえるなど収穫の多い大会でした。

アイモ風土記

一、きものに生きて

記録的な大雪でマヒ状態におちいつた中越にあつて何事もなかつたように機を動かしている町、それは新潟県十日町です。
 平年ですら豪雪に埋まるこの町では独自の除雪対策をもち少しもあわてることがなかつたのです。雪地獄父祖の地ゆえに住みつけり、雪地獄も捨てることのできない父祖の地でした。
 そしてこの町の人びとは雪の下に生きる暮しの道を織物に求め、中世のむかしから着物一筋に生きてきたのです。

20hr 277hr 124hr 38hr 13hr 189hr